

アーカイブス通信

No. 19

新着図書

新着図書の中からおすすめをご紹介します。



井の頭公園まるごとガイドブック 改訂版

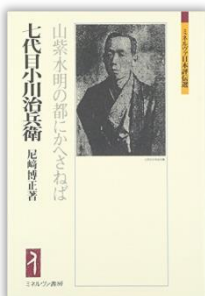
安田和代 著 / ぶんしん出版 2016年8月発行

大正6年(1917)に開園した井の頭恩賜公園は、平成29年(2017)5月に開園100周年を迎えます。本書では井の頭恩賜公園100年の歩みを一冊に凝縮し、沢山の写真・イラストでわかりやすく公園の魅力を紹介しています。このガイドブックを読めば井の頭恩賜公園の「今」も「昔」もまるごと網羅できます。

珍樹図鑑

小山直彦 著 / 文藝春秋 2016年10月発行

幹の模様や枝の形が人間の顔、動物の姿そっくりに見える木に出会ったことはあるでしょうか。本書では、そのような木を“珍樹”と名付け、著者が今までに見つけたコレクションを写真と共に紹介します。珍樹探しは、公園・森・街中など木のある所であれば、お年寄りから子供まで誰もがどこでも楽しむことのできる遊びです。見つけ方のポイントも掲載されているので、読むと自分だけの珍樹を探しに出掛けたい一冊です。



七代目小川治兵衛ー山紫水明の都にかへさねばー

尼崎博正 著 / ミネルヴァ書房 2012年2月発行

「いつの時代にも、創造的であったものだけが伝統となり、伝統が新たな創造性を弛まなく刺激しつづけてきた。」(はしがきより抜粋)

本書では、京都造形芸術大学教授、京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター名誉所長である尼崎博正教授が、明治から昭和へと近代化が進む日本で、日本庭園のあり方を大きく転換させ、庭園の新境地を拓いた“近代の植治・七代目小川治兵衛”の活動の軌跡と日本庭園の歴史を紹介しています。

庭暮らしのススメ

豊蔵均 著 / 福音館書店 2016年10月発行

「見る庭」から「使う庭」へ。つくることではなく、庭によって日々の暮らしを豊かにすることを目的とした本書は作庭界の若手職人ならびにガーデナーに向けた実践的な資料集となっています。「庭師の道具たち」、「暮らしの中の石積と敷石」など10のテーマに沿った基本技術の勘どころを作庭界の第一線で活躍する16人の実務者が実例とともに解説しています。



みどりの①プラザ展示 井の頭恩賜公園100周年記念 東京グリーンアーカイブスコレクション

期間：平成28年11月29日(火)～平成29年2月25日(土)
※日曜・祝日、年末年始(平成28年12月29日～平成29年1月3日)
※平成29年1月16日(月)は特別休館(館内停電のため)
開館時間 9:00～17:00 入場無料

井の頭恩賜公園は平成29年5月に開園100周年を迎えます。豊かな自然が残された皇室御料地を大正2年に東京市に下賜され、大正6年に東京市の郊外公園第一号として井の頭恩賜公園は開園しました。開園から100年の間、ボート場や野外音楽堂、井の頭自然文化園が完成し、豊かな樹林、水辺は人々の憩いの場所として親しまれ続けています。今回みどりの①プラザでは、開園100周年を記念し、「みどりの図書館 東京グリーンアーカイブス」で所蔵する貴重な資料(写真・絵葉書など50点以上)を特別公開し、100年の歩みをたどります。皆様のご来場をお待ちしております。

井の頭恩賜公園開園100周年記念
東京グリーン
アーカイブスコレクション
In 日比谷公園 緑と水の市民カレッジ



2016 11月29日(火)～2017 2月25日(土)

開催時間 9:00～17:00 入場無料
休館日 日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)
1/16(月) 特別休館日
会場 日比谷公園 緑と水の市民カレッジ3階
みどりの①プラザ
公益財団法人東京都公園協会
緑と水の市民カレッジ/展示場
〒100-0021 東京都千代田区日比谷公園1-1
TEL:03-5521-1904 FAX:03-5521-1307

「針ヶ谷文庫」

11月30日(水)～2月18日(土)

「みどりの図書館 東京グリーンアーカイブス」では、東京農業大学や早稲田大学、武蔵工業大学で造園学を教えた針ヶ谷鐘吉先生の資料を所蔵しています。当館ではこれら資料を「針ヶ谷文庫」として一部を公開、貴重な資料は閉架保存し、ご利用に応じて閲覧していただいております。

針ヶ谷先生は明治39年(1906)1月11日に現在の千代田区の西部に生まれ、東京市立早稲田中学校5年生の時に『欧羅巴』(池辺義象/明治35年(1902)刊)を読み、ヨーロッパへの憧れを抱きます。昭和7年(1932)から東京高等造園学校で西洋造園史の講義を開始しました。先生はイタリア・フランス・イタリアなど様々な国の洋書を収集し、西洋の庭園について歴史、様式、特徴をまとめた『西洋造園史』を昭和31年(1956)に刊行しました。

先生が収集した資料は造園分野のものだけではなく、植物にまつわる和歌、浮世絵の世界にまで広がります。

今回『針ヶ谷文庫』の一部を所蔵資料紹介コーナーで公開します。この機会に針ヶ谷先生の宝物をご覧ください。



レファレンス事例

こんなご相談にも乗っています。お気軽におたずね下さい。

Q.小学校1年生くらいの子もできるような葉っぱを使った遊びを紹介している本はありますか。

A.当館の所蔵資料『親から子どもに伝えたい 草花遊び・虫遊び』は、草笛の吹き方やササ舟の作り方などの身近な植物を用いた遊び方が季節ごとに紹介されています。当館では、他にも小さなお子様に向けた科学・植物分野の図書も多数所蔵していますので、是非、ご家族一緒にご利用ください。

紹介図書:乙益正隆『親から子どもに伝えたい 草花遊び・虫遊び』(八坂書房/1993年)



Q.「ネズミモチ」の名前の由来を教えてください。

A.「ネズミモチ」の果実の形がネズミの糞に、枝や葉が「モチノキ」に似ていることから名付けられたとされています。果実は長さ1cmほどの楕円形で紫がかった灰色に熟し、その形、色はネズミの糞を思わせます。よく似ている中国原産の「トウネズミモチ」は、「ネズミモチ」よりも花期が少し遅く、果実は球形に近く、種子の形も異なっています。また、葉を陽にかざすと葉脈の主脈・側脈が透かして見えるのが「トウネズミモチ」、透けにくく、主脈だけ見えるものが「ネズミモチ」となっています。

紹介図書:石井桃子『都会の木の实・草の実図鑑』(八坂書房/2006年)



Q.東京の地図で、明治から現在までの変遷が確認できるようなものはないか。

A.当館所蔵の『地図で見る東京の変遷 明治・大正・昭和中期から現代まで』、『地図 東京今昔 東京商工会議所110年記念』には、大正・明治・昭和の地図が集録されており、東京の変遷を確認することができます。

紹介図書:『地図で見る東京の変遷 明治・大正・昭和中期から現代まで』(財団法人日本地図センター/1984年)

『地図 東京今昔 東京商工会議所110年記念』(東京商工会議所/1988年)



- 開館時間 : 9:00～17:00
- 休館日 : 日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- 複写 : 有料
- 資料検索 : インターネットからも検索可能

<http://www.tokyo-park.or.jp/college/archives/>

グリーンアーカイブス 検索

- データ貸出: 図面・写真・絵はがき等の資料の画像データ貸出についての申請方法は図書館職員までお問合せください

〒100-0012 千代田区日比谷公園1-5 緑と水の市民カレッジ2階
TEL.03-5532-1347

- ・東京メトロ丸の内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」駅下車 徒歩3分
- ・都営地下鉄三田線「内幸町」駅下車 徒歩5分
- ・JR山手線「有楽町」駅下車 徒歩15分